

02



Our Motoring Story

My Car Report



UCGに携わる様々な人たちのプライベートカーライフを大公開。
1台に長く愛情を注ぐ人、次々に買い換えてフィールの違いを味わう人。
愛車との付き合い方は千差万別なれど、それぞれみんな楽しんでいるようです。

02 1989 Porsche 911 Carrera Clubsport
加納亨介／編集部

03 1999 Alfa Romeo 156 Twinspark Selespeed
佐藤貴昭／編集部

05 1967 VW Type II Westfalia
中嶋光貴／広告担当

09 1999 Lancia Y 1.2 16V LX
山田舞／編集部

10 1992 Lancia Thema 8.32
野田義彦／編集部

11 1992 Porsche 911 Turbo
中嶋光貴／広告担当

12 1995 Volkswagen Vanagon
野田義彦／編集部



12

1995 Volkswagen Vanagon

1995年式 フォルクスワーゲン ヴァナゴン
走行距離:149,000km
2007年4月購入(価格:60万円)

15万kmヴァナゴンの実力は!?

昨年12月から、アルファ・ロメオ 156TI とランチア・テマ8.32の2台生活が続いていた。年代やエンジンの排気量には開きがあるものの、やはり同じようなボディサイズのセダンを2台も持つのは無意味、というか勿体ないことがよくわかった。結局、アルファ156のオドメーターはビタリと止まったまま、タワーパーキングで埃を被りながらクルクル回っていただけの有り様だ。正妻の座を8.32にあっさり奪われてしまったのである。まっ、相手が悪かったかな。かくして、156は僕の手元から去っていった。

でも、信頼性に難のある8.32だけでは心もとない。やかましいとか、故障ばかりしているとか、カッコが古くさいとか、家族からの不満の声も強かったし。ならば!と、パパはこんなクルマを手に入れました。その名は、VWのミニバン、ヴァナゴン。めったに出てこない希少車の格安物件なんだけれどね。

中古車に掘り出しモノはない。安いには理由がある。これは小誌が繰り返している台詞だ。それでは、このヴァナゴンの秘密はというと、ズバリ! 走行距離。購入時のオドメーターはすでに15万kmにとどこうかというところまで回っていた。そして、もうひとつ秘密がある。実は、VW専門店の“ハイタイムコーポレーション”が社用車として使っていたクルマなのだ。

商品ではなかっただけに、外装は程度がいいとは言えない状態だ。両サイドのボディパネルはいい加減な板金で波打っているし、パテを使って応急処置を施した部分もヒビ割れている。

ただし、メカニックたちが足に使っていた車両だっただけに、消耗品の交換がきっちり行なわれていたのだろう。エンジンやトランスミッション、そしてボディの剛性感は、走行距離を疑いたくなるほどしっかりしている。やはりこの時代のVWは、ミニバンでもメカニズムやボディの耐久性が非

常に高いレベルにあるのだ。感覚的には走行5万kmと言われても納得する人が多いと思う。

ヴァナゴンの走行感覚や実用性については次回のレポートに譲るとして、ランチア・テマ8.32のことにも触れておこう。4月は快調に走行を重ね、グングン距離をのぼした。現在、60,760km。購入から4ヵ月で、すでに2100km以上を走ったことになる。8.32には満足できる距離なのではないだろうか。

Text: 野田義彦 / Photo: 丸山博人

